

②経過
ア)当初はイギリスの優位=[1 **エドワード黒太子**]や長弓隊の活躍→フランス北東部の活躍

・フランス…[2**黒死病**]の流行や[3**ジャックリー**]の乱の発生 →荒廃進む
独立自営農民からなる

イ)フランスで[4 **ジャンヌ=ダルク**]が出現→戦局一変、[5 1453]年、フランスの勝利に
[6 **ビザンツ**]帝国滅亡と同年→「中世終了の年」

③百年戦争の結果…フランス[7 **シャルル7世**]のもとで王権拡大→[8 **貴族**]・騎士の没落
→都市の商人の力を借り、[9 **中央集権**]化進行

④イギリス…[10 **王位継承**]をめぐる内乱=[11 **ばら**]戦争発生→大混乱に

ばら戦争…[12 **1455**]年、[13 **イギリス**]で起こった王位継承をめぐる[14 **内戦**]。王家は[15 **ヨーク**]家と[16 **ランカスター**]家に分裂、諸侯・騎士らを巻き込んだ激しい争いとなる。この結果、貴族の多くが没落、1485年テューダー朝の[17**ヘンリ7世**]によって終結する。

⑤1495年 [18 **テューダー**]朝の[19 **ヘンリ7世**]即位
→[20**星室庁裁判所**]を設置＝大貴族を抑圧し、[21 **中央集権**]化をすすめる。

14世紀から15世紀にかけてイギリスとフランスの間で[22**百年**]戦争が[23 **フランス**]を舞台に100年以上つづいた。[24 **ジャンヌダルク**]の活躍などでこの戦争に勝利したフランスでは国王の下で[25 **中央集権**]化がすすんだ。
他方、戦争に敗れたイギリスではこの戦争の直後から[26**ばら**]戦争とよばれる[27 **王位継承**]をめぐる内戦が発生した。この戦争を終結させた[28 **テューダー**]朝の[29 **ヘンリ7世**]は弱体化した大貴族を抑圧、国王による[30 **中央集権**]化の道をすすむことになる。

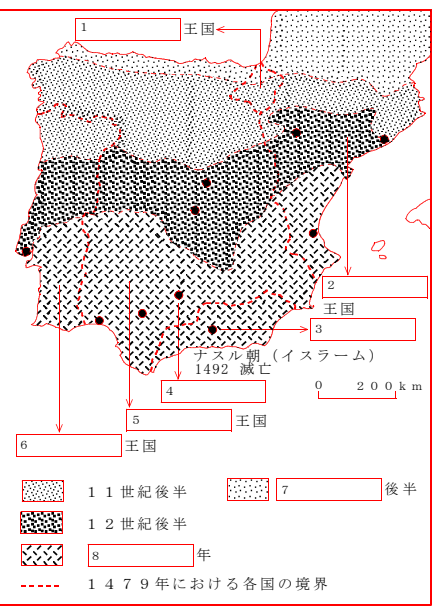
h. スペインとポルトガル

①イベリア半島…8世紀以来、[31 **イスラーム**]が進出、[32 **西哥ート**]王国を滅ぼす
後ウマイヤ朝→ムラービト朝→ムワッヒド朝→ナスル朝

②キリスト教徒による国土回復運動([33 **レコンキスタ**])がすすむ(約800年間続く)
→イスラム教徒を半島南部においこんでいく。

↓
東部の[34 **アラゴン**]王国、中央部の[35 **カスティリヤ**]王国、西部の[36 **ポルトガル**]王国が有力に

↓
③1479年 アラゴン([37**フェルナンド**])とカスティリヤ([38 **イザベル**])の結婚(合併)によって[39 **スペイン**]王国成立 →[40 **1492**]年、[41 **グラナダ**]を占領＝イスラム教徒排除に成功



イベリア半島の国土回復運動

↓
新たな発展をめざし、[42 **アメリカ大陸**]方面に進出

④ポルトガル=[43 **ジョアン2世**]のもとで王権を拡大→[44 **西アフリカ**]沿岸から[45 **アジア**]方面へ

8世紀以来、イスラム教徒の支配がつづいた[46 **イベリア**]半島では、12世紀ごろからキリスト教徒による[47 **国土回復運動**]が本格化し、イスラム教徒を南部においつめていった。こうした過程の中でアラゴン・カスティリヤ・[48 **ポルトガル**]の3国が有力化した。
1479年には[49 **アラゴン**]王子フェルナンドと[50 **カスティリヤ**]王女イザベルの結婚によって両国は合併、[51 **スペイン**]王国が成立した。そして1492年には、イスラム勢力の最後の拠点グラナダを占領し[52 **国土回復運動**]を完了させた。
その後、ジョアン1世のもと王権を拡大し海外進出をすすめていた[53 **ポルトガル**]につづき、スペインも[54 **コロンブス**]のアメリカ到達をきっかけに海外進出を進めていく。

i. ドイツ・イタリア・北ヨーロッパ

①イギリス・フランス…中世を経て 55**中央集権化** がすすむ。

ドイツ・イタリア…[56**都市**]や[57 **諸侯**]が強く統一権力が弱い。

②ドイツ…10世紀以降、[58 **神聖ローマ**]皇帝が存在
→[59 **イタリア**]政策に没頭し、国内政治をおろそかに

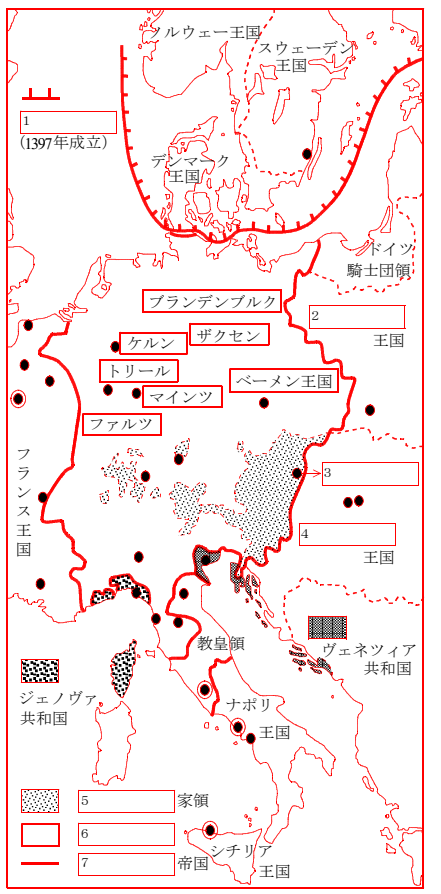
③13世紀半ば(1256～73)[60**大空位**]時代=61 皇帝が不在(決まらなかった)であった時代

④14世紀半ば(1356)…皇帝カール4世、[62 **金印勅書**]を発する
→大諸侯の権限を認める。

金印勅書(黄金文書)…1356年皇帝カール4世がだした文書。7人の[63**選帝侯**]に皇帝を選挙する権利を認めた。[64**大諸侯**]の力を認めることでドイツの分裂をいっそうすすめた。

⑤15世紀以降[65 **ハプスブルク**]家が神聖ローマ皇帝を事実上世襲する([66**オーストリア**]公など)

⑥300以上の地方主権([67 **領邦**])が分立し統一は困難に
諸侯領(荘園)や自由都市
東部への植民続く→[68 **ブランデンブルク**]辺境伯領、[69**ドイツ騎士団**]領など
→再版農奴制が実施され、領主権と農奴制強化



15世紀末のドイツ・イタリア・北欧